



Title	GLOCOLブックレット05 目次
Author(s)	
Citation	GLOCOLブックレット. 2011, 5
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/48253
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

GLOCOLブックレットの創刊にさいして

「GLOCOLブックレット」は、大阪大学グローバルコラボレーションセンター（以下、GLOCOL）が企画・実施している、教育、研究、実践の3領域にわたる活動の成果を大阪大学内外に知らしめるために創刊されました。2007年4月に開設されたGLOCOLは、大阪外国語大学との統合後の新大阪大学における新たな教育理念を具現化するため、教育プログラムの改革をおこなうことを第一の使命としています。

グローバル化のなかで、現代の世界は、紛争、貧困、文化の衝突、感染症、環境破壊といったさまざまな問題に直面しています。経済的繁栄のなかで、他の国や地域の問題は「他人事」ですましてきた日本という国の住民も、ナショナルな枠組みのなかで安住することはもはや困難になっています。現在の総合大学に課されているのは、こうした世界の状況を適切に理解し、その改善や解決に向けて真の「国際性」(intercultural communicability)をもって主体的に行動することのできる人材を養成することであると考えます。この責務を実現するためには、従来の学部・研究科の枠組みを超えた連携(コラボレーション)が必要です。連携のパートナーには、学外・国外の研究機関、開発援助機関や市民団体も含まれます。GLOCOLの役割は、こうした連携の媒介者兼牽引者となることです。

先端的な教育プログラムの開発は、先端的な研究の裏打ちがあってはじめて可能になるものです。GLOCOLが、「人間の安全保障」と「多文化共生」を二つの柱とする研究の推進に力点を置いているのはそのためです。また、GLOCOLにおける教育研究のプロジェクトは、現代世界の動態と深く関連しているがゆえに、学生と教員の双方は必然的に「現実とのかかわり方」の模索を求められることとなります。それゆえに、GLOCOLが教育・研究・実践の「三位一体」をスローガンにしているのです。

「GLOCOLブックレット」は、シンポジウム、ワークショップ、研究プロジェクト、教育プログラムの開発、実践とのかかわりなど、GLOCOLのさまざまな事業を報告するメディアです。皆様のご理解とご支援をお願いするしだいです。

2009年2月

大阪大学グローバルコラボレーションセンター
センター長

栗本英世

ベトナムにおける栄養と食の安全

Nutrition and Food Safety in Modern Vietnam

住村 欣範 [編]

目次

はじめに：ベトナムにおける栄養と食の安全	住村欣範	003
【栄養編】		009
ベトナムの栄養政策について	トゥ ザイ 住村欣範訳	011
ニンビン省フーロック行政村における 母子の栄養状態と影響要因	チン ホン ソン 住村欣範	029
ベトナムにおける高齢化と栄養 タイビン省での取り組みから	住村欣範	047
ベトナムにおける水産物の流通の現状	ファム ゴック カイ 李 俊遠	055
【食の安全編】		063
ベトナムにおける食品安全衛生の現状	グエン コン カン 住村欣範訳	065
ベトナムにおける食品安全分野の専門家育成について	ファム ゴック カイ 住村欣範訳	075
ベトナム北部における水問題と水質汚染 ヒ素汚染の問題を中心に	ヴ フォントック 住村欣範訳	087
海外研修「ベトナムの食と薬」報告	岸本紗也加 多久和綾子	095
コラム「VACについて」	住村欣範	017
コラム「ベトナムにおける薬剤耐性菌について」	住村欣範	074